

非核三原則を守り、核も基地もない日本を

ビキニデーから、5月のニューヨーク、8月の広島・長崎へ

核兵器廃絶への誓い新たに——3・1ビキニデー

いまから56年前、1954年3月1日、アメリカは太平洋ビキニ環礁で島型原爆の1000倍の威力をもった大規模な水爆実験を強行しました。爆発による放射能は世界の広大な海域を汚染し、焼津を母港とする第五福竜丸をはじめ多数の日本漁船やマーシャル諸島の島民に大きな被害を与えました。

ビキニ事件は、日本国民を原水爆禁止運動に立ち上がらせる契機となりました。地域や職場からはじまった署名運動は瞬く間に全国に広がり、翌5年8月、広島で開かれた最初の原水爆禁止世界大会では、当時の日本の有権者総数を超える3200万筆もの原水爆禁止署名が集まりました。

ビキニデーは、核兵器のない世界、非核三原則を実行する非核平和の日本の実現への決意を新たにするとして毎年、静岡・焼津でつどいが開かれています。ぜひあなたもご参加ください。

あなたの署名をニューヨークへ！

世界の反核平和運動は、5月3日から28日までニューヨークで行われる核不拡散条約（NPT）再検討会議にむけて、すみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結することを求める「核兵器のない世界を」国際署名などに取り組んでいます。ニューヨーク行動には日本各地から1200人を超える代表が署名を持参し、参加します。第五福竜丸の母港・焼津市長も署名をもってニューヨークに行くと言っています。

この署名には、630を超える自治体の首長をはじめ、多数の議会の議長や教育長さんなどが賛同を寄せ、被爆者、自治会役員さんなども協力してまちぐるみで署名にとりくむ経験が各地でひろがっています。

NPT再検討会議を、核兵器のない世界への転換をめざして具体的な一歩を踏み出させる機会とするために、あなたの署名をお願いします。



イラスト=なお・まえかわ

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>